

【アンケートについて】

知事： 最後に、アンケートについてお話をさせていただきたいと思います。

まず、「土佐・龍馬であい博」に行ったことがある人が7%しかいなかった。少ないなあ。もっとアピールが必要だと思う？ 高知県のPRをするために、まず大切なのは何でしょうか。

生徒： テレビやネットなどの媒体を通して、もっと全国の人が高知の魅力を見ることができるようになることだと思います。

知事： そうですね。でもゴールデンタイム30分間番組を流すと、どれくらいお金がかかるか知ってる？ 場合によったら3億円ぐらいかかるんです。それはなかなかお金で買えませんね。だから、一番いいのは取材してもらうことです。今日もマスコミの皆さんおいでになっていますけど、取材してもらって、タダで放映をしてもらうことが一番いいです。

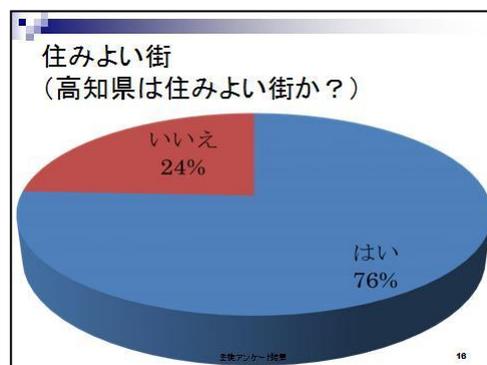
実は高知県でも、BS放送で番組を買ってPRをしています。そしてもっと工夫して、BS番組で撮った映像を生かして、他にもいろいろと放映できるようにしたりとかしているんですよ。

だけど、もう1個大事だと思うことがある。自分が高知のことをよく知っていないと、人にPRできません。県民の皆さんそれぞれ、高知のことをよく知っているということが非常に重要だと思うんですよ。

だから、「土佐・龍馬であい博」に限った話ではなく、もっと高知をPRしようとするときに、このことについては私は負けないというものを作るように頑張ってみてください。

高知のことを知らないで、高知のことをPRしようと言っても、それはできない。だから是非、皆さん自身、高知のことを、今後も学び続けるように頑張ってくださいと思います。

もう1個、アンケート結果で非常に興味深いなと思った点について。高知が住みよい町だと思う人76%って、本当にこんなにたくさんいた？



生徒： はい、いました。

知事： これはありがたいことです。ただ、就職するときは、県外に行ってみたいという人は結構多いんですね。それは仕事がないとかっていうこともあるかな。県外で仕事をしたいのは、高知県内で仕事がないからですか？ では、どういう条件が揃うと高知に若い人は残ると思いますか？

生徒： 企業をいっぱい作って、就職できるようにすればいいと思います。

知事： そうですね。ここところがすごく大切なんだと思います。だから我々、大人たちは一生懸命皆さん若い人たちのためにも頑張らないといけないというふうに思いま

す。

高知県の名目GDP、一人当たりのGDPは、全国平均の7割しかないんです。7割しかないということは、どういうことか。別にそんなに暮らしに困るほどのレベルじゃない。だけどよく言われるのは、デート行ったりするとき、高知県はドライブしかすることがありませんとかね。東京だったら、いくらでもいろんな選択肢があるけど、田舎で経済が小さいということは、選択肢が少ないということです。だからもっと経済の活動を活発にしていくことが大事だと思います。

だけど、高知県が東京のような都市を目指すことがいいのかどうか。それについてはまた別の考え方があるのではないかと思います。若い皆さんはどう思われるか分かりませんが、年を取るに従って考え方も違ってくと思うので、目指すべき高知県の将来像っていうのはどういうものなんだろうかということを是非、今後も考えてもらいたいと思います。

住みやすいと答えた人が76%。東京でアンケートとったら、こういうことになるかな。それを如実に表している数字があります。出生率です。1人の女性が生涯何人子どもを産むかという数字。この出生率が2.2をちょっと越える数字であれば人口は減りません。今、日本全国の出生率は1.3ぐらいです。高知県は1.3と全国平均です。東京は、1ぐらいしかない。全国平均の7割から8割しかありません。要するに、子どもを産みやすい場所ではない。また教育費も高い。それから、そもそも暮らしが、便利なようで電車がなければ移動できない町だから、あっちこっち地下をベビーカーを持って上ったり下がったりしないといけない。私も東京で暮らしていて、子ども2人を育てましたけど、いつも階段をベビーカー持って上って下がって大変でした。

例えば食べ物でも、同じトマトでも高知で食べるトマトのほうがすごくおいしいでしょう。住みやすいというのは、人間が人間として生きやすい、生きるためのいろんな条件がたくさん揃っているところであり、高知県のようなところでもあるんだと思います。

都市型の暮らしを求めることも、一定必要な部分もあると思いますが、高知県は、高知県の持っている自然、さっきアンケートにもあった食、それから結果として生じる暮らしやすさを、どんどん伸ばしていくことが大事なのではないかと思っています。あとは、高知県には他の県、同じ田舎の県の中でも特に歴史のいろんな遺産もあります。それからよさこい。高知県発祥で、今や全国220箇所で開催されているよさこいは、いろんな人のアイデアが湧き上がってきて作り上げてきた素晴らしい文化です。

高知県はいろんなよさを持っていますが、その将来像をどう考えていくか、是非、皆さんそれぞれの感覚で、また、外に行かれる人も、高知県の中に残られる方もそれぞれの考えがあると思います。いろんなところでいろんな経験をしていく中で、考えが変わられることもあろうかと思っています。ですが、高知県みたいなどの将来像が

どうなっていくかということについて、ずっと考え続けていただきたいと思います。